

2007年11月の東北地方の天候

【11月の特徴】

- ・東北北部の大雨
- ・中旬から下旬の低温と大雪

(1) 2007年11月の概況

この期間、前半は高温、後半は低温と気温の変動が大きかった。11日から12日における低気圧が発達しながら東北地方を通過したため、青森県や岩手県で記録的大雨となり、浸水害や土砂災害が発生した。月半ばになると低気圧が日本の北東で発達することが多く、冬型の気圧配置となり、強い寒気が南下した。中旬の終わりから下旬のはじめにかけて、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いを中心に雪となるところがあり、11月としては記録的な大雪となるところもあった。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。月間日照時間は東北北部で少なく、東北南部で多い。降雪の深さの月合計平年比は東北日本海側で123%で多く、東北太平洋側で182%で多い。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間のはじめと終わりは前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くたが、期間の中ごろは高気圧におおわれ晴れの日が多くた。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で平年並、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。

中旬：東北北部や東北日本海側では、低気圧や上空の寒気の影響で曇りや雨または雪の日が多くたが、東北南部の太平洋側では晴れの日が多くた。11～12日は低気圧が発達しながら東北地方を通過したため、東北北部では記録的大雨となり、浸水害や土砂災害が発生した。15日以降各地で初霜、初氷、初雪が観測され、18～19日は東北日本海側を中心に大雪となった。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部でかなり多く、東北南部で平年並。日照時間は東北北部でかなり少なく、東北南部で多い。

下旬：期間のはじめは、冬型の気圧配置となり強い寒気が南下したため、東北日本海側や東北太平洋側の山沿いでは雪や雨の日が多く、11月としては記録的な大雪となるところもあった。東北太平洋側の沿岸部では晴れの日が多くたが、雪の降る日もあった。24日以降は、移動性高気圧におおわれ晴れの日が多くた。

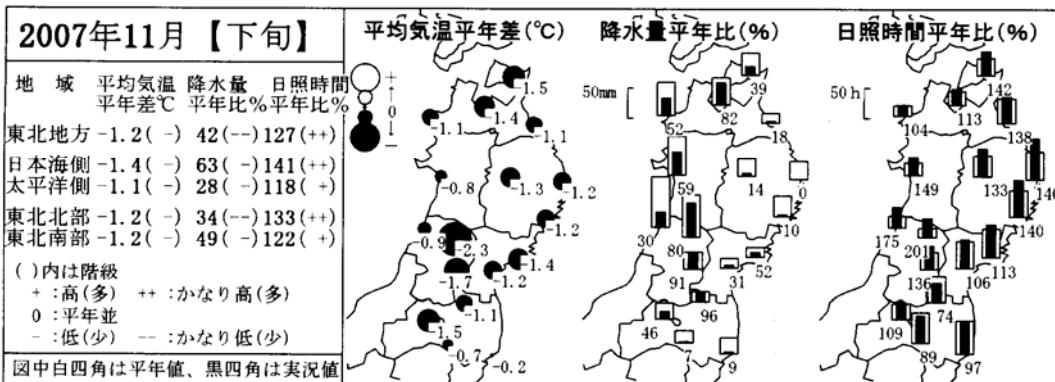
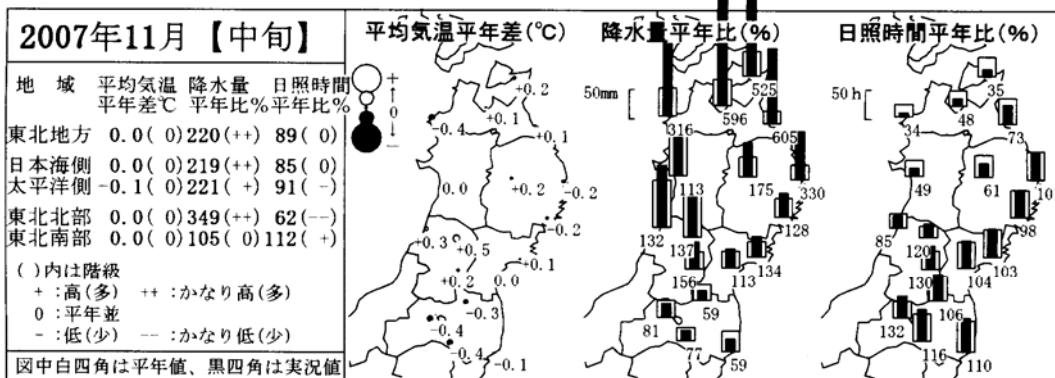
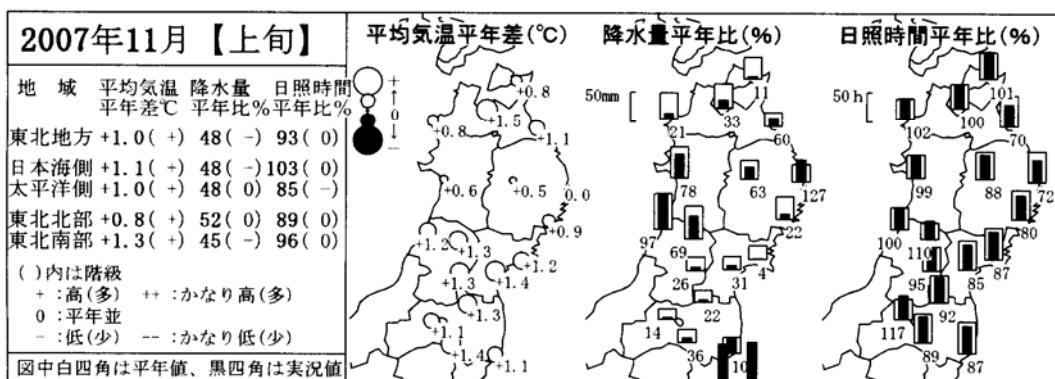
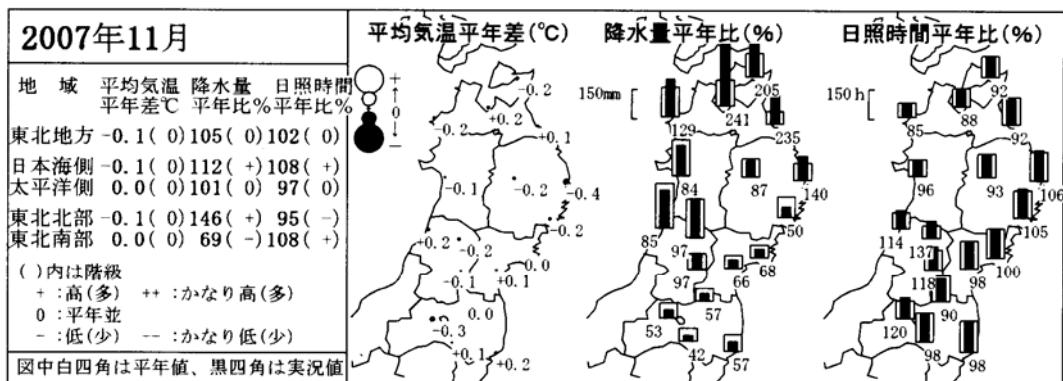
平均気温は東北地方で低い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2007年11月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971~2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2007年11月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)	階級	降水日数	日照時間(平年比)		降雪深さ(平年値)	階級	最深積雪(平年値)	階級
	(°C)	(°C)				(mm)	(%)				
青 森	6.6	(+0.2)	○		317.0 (241)	+*	16	80.7 (88)	-	26 (40)	○
深 浦	7.3	(-0.2)	○		189.5 (129)	+	16	60.8 (85)	-	11 (13)	○
む つ	6.1	(-0.2)	○		237.0 (205)	+*	17	98.3 (92)	-	10 (21)	-
八 戸	6.7	(+0.1)	○		144.0 (235)	+*	14	125.2 (92)	-	9 (8)	○
秋 田	7.5	(-0.1)	○		154.0 (84)	-	16	81.4 (96)	○	12 (13)	○
盛 岡	5.5	(-0.2)	○		81.0 (87)	○	12	110.5 (93)	○	3 (11)	-
大 船 渡	8.0	(-0.2)	○		52.0 (50)	-	5	146.1 (105)	+	- (2)	○
宮 古	7.3	(-0.4)	○		119.5 (140)	+	6	154.6 (106)	○	- (1)	○
仙 台	9.2	(+0.1)	○		44.0 (66)	○	5	136.7 (98)	○	- (1)	○
石 卷	8.3	(0.0)	○		44.5 (68)	○	3	149.9 (100)	○	9 (1)	+*
山 形	7.1	(-0.1)	○		78.0 (97)	○	13	117.5 (118)	+	35 (12)	+*
新 庄	6.0	(-0.2)	○		190.0 (97)	○	20	85.1 (137)	+*	48 (28)	+
酒 田	9.2	(+0.2)	○		189.5 (85)	○	19	91.7 (114)	+	1 (10)	-
福 島	9.0	(0.0)	○		36.0 (57)	-	6	118.0 (90)	-	11 (2)	+
若 松	6.7	(-0.3)	○		38.5 (53)	-	10	105.7 (120)	+	13 (9)	+
白 河	7.7	(+0.1)	○		27.0 (42)	-	3	142.9 (98)	-	- (2)	-
小 名 浜	11.0	(+0.2)	○		50.0 (57)	-	3	157.1 (98)	○	- (0)	- (-)

(注) 1. 年平均値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めた。また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を附加した。この場合には

かなり高い(多い) カなり低い(少ない)

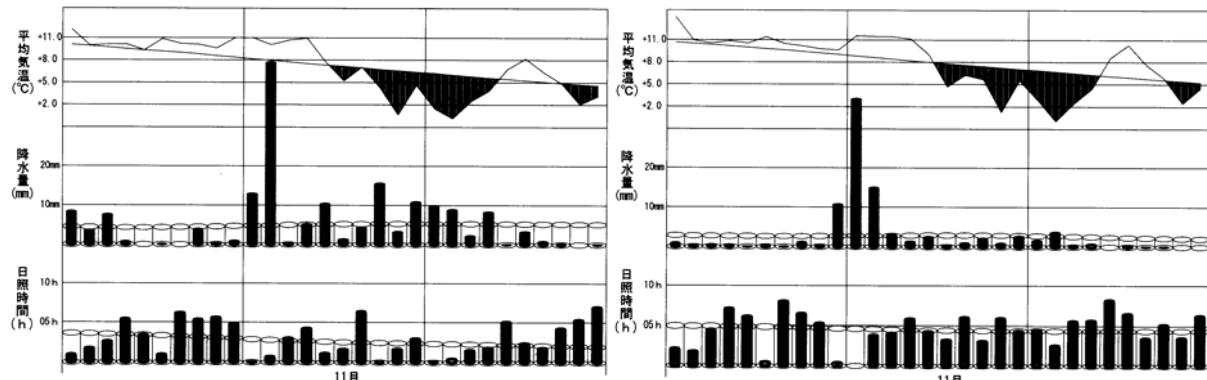
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は平年値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に) や] がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ（日別値）に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値（準完全値）は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値（資料不足値）については、値の下に記載した統計日数（統計に用いた、品質が十分な日別値の数）を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2007年11月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図

東北太平洋側の日別経過図

気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2007年11月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	青森	317.0	241	268.6 (1942)	1886	131.7
	むつ	237.0	205	235.9 (1951)	1935	115.4

月降水量少ない方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
3	新庄	85.1	137	91.7 (1957)	1957	62.1

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

順位	地点名	降雪の深さ月合計 cm	これまでの最大 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
2	石巻	9	10 (1985)	1953	1
3	山形	35	51 (1973)	1953	12

月最深積雪大きい方からの順位更新

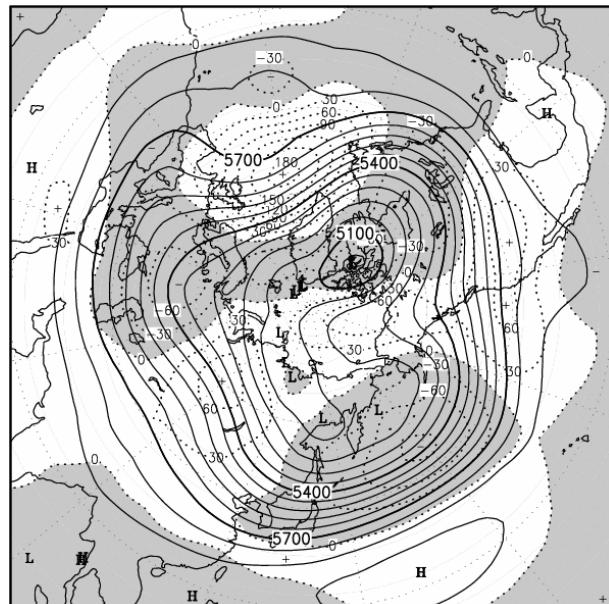
順位	地点名	最深積雪 cm	起 日	これまでの最深 cm (西暦年)	開始年	平年値 cm
1	石巻	9 =	22	9 (1985)	1887	1

注) 値の横に]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている(資料不足値)。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計日数を参照されたい。

平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

(7) 2007年11月の循環場の特徴

北極付近には強い正偏差域(平年より高度が高く、暖気に対応)があり、日本付近は負偏差(平年より高度が低く、寒気に対応)。北極振動は寒気放出傾向で、日本付近に寒気を南下させやすく、中旬から下旬に寒気が南下したことに対応している。



2007年11月の平均500hPa高度

実線は等高度線: 60m毎、点線は偏差: 30m毎
陰影部は負偏差(寒気に対応)

(8) 2007/2008 年寒候期 季節現象

2007/2008年寒候期 季節現象(初日)									
官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11. 30	10. 23	11. 19	11. 19	10. 29	11. 20	11. 15	11. 7	11. 12
秋田		11. 6	11. 19	11. 19	11. 13	11. 19	11. 15	11. 12	11. 16
盛岡	11. 5	10. 18	10. 22	11. 5	10. 24	11. 2	11. 16	11. 8	11. 12
仙台	11. 17	11. 06	11. 18	11. 17	11. 16	11. 19	11. 18	11. 22	12. 2
山形	11. 17	10. 24	11. 9	11. 17	10. 29	11. 19	11. 18	11. 16	12. 1
酒田	11. 20	11. 12	11. 19	11. 19	11. 20	11. 19	11. 16	11. 17	12. 1
福島	11. 17	11. 6	11. 19	11. 17	11. 11	11. 19	11. 18	11. 24	12. 3
若松	10. 24	10. 28	11. 19	10. 24	11. 6	11. 19	11. 18	11. 17	11. 12
小名浜	11. 17	11. 11	11. 25	11. 24	11. 19	11. 25		12. 13	12. 29

初冠雪									
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
ハッコウダ サン 八甲田山	1584	10. 13	10. 16	11. 8	ガ ンドサン 雁戸山	1485	11. 16	10. 28	11. 8
イワキサン 岩木山	1625	11. 2	10. 15	11. 8	リュウサン 瀧山	1362	11. 16	10. 30	11. 8
タイハイイザン 太平山	1170	11. 16	10. 31	11. 12	イズミ ガダケ 泉ヶ岳	1175	11. 16	11. 6	11. 8
イワテサン 岩手山	2038	10. 15	10. 13	10. 9	ザオウサン 蔵王山	1841	10. 22	10. 23	11. 8
チヨウカイイザン 鳥海山	2236	10. 13	10. 9	10. 9	アツマヤマ 吾妻山	1949	10. 21	10. 21	11. 8
ガッサン 月山	1984	10. 22	10. 15	11. 8	イイデサン 飯豊山	2105	10. 22	10. 17	11. 8
アサヒダケ 朝日岳	1870	11. 13	10. 19	11. 8	パンダイサン 磐梯山	1819	11. 13	10. 24	11. 8

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。